

調査の概要

1. 調査の目的

区民ニーズの把握と区政運営に反映させることを目的とする。

2. 調査の地域

名古屋市港区の全域

3. 調査の対象、数

区内居住の18歳以上の男女2000人（外国人含む）

4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

通達員配布後 郵送回収法

6. 調査期間

令和5年6月12日（月）～ 7月14日（金）

7. 回収数

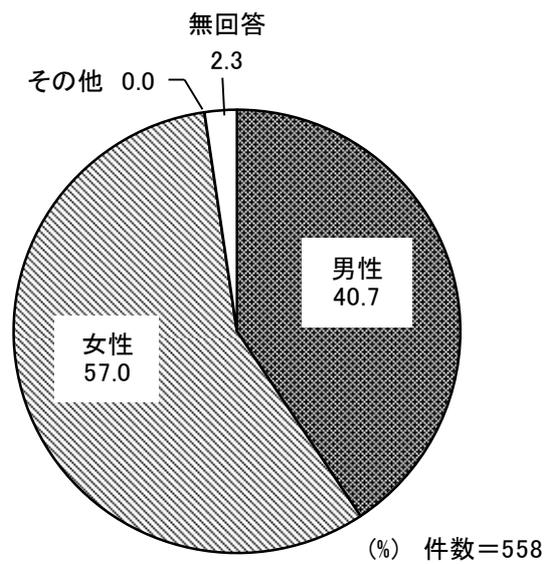
558人（27.9%）

調査の結果

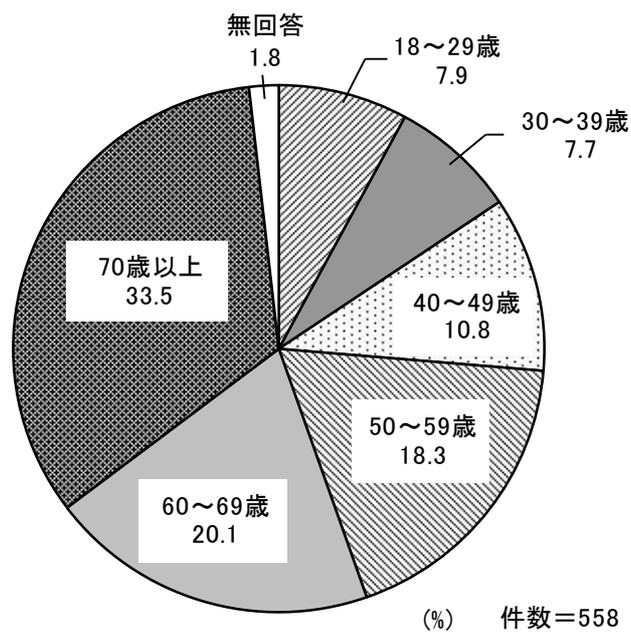
1 対象者の属性

質問1 はじめに、あなたご自身についてお聞かせください。
(該当する番号に○をつけてください)

■性別



■年齢



2. 区政運営方針について

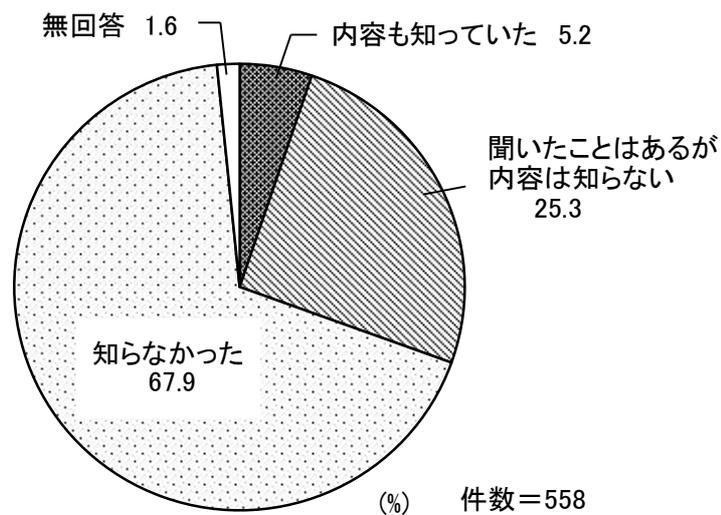
2-1 区政運営方針の認知

- 「港区区政運営方針」の認知については、「内容も知っていた」は5.2%であり、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が25.3%で、合わせて30.5%と3割が認知している。
一方、「知らなかった」は67.9%で7割程となっている。

質問2 港区役所では、「港区将来ビジョン」において、目指すべき将来像として『「信頼」と「安心」を高め、暮らしやすいまちづくり』を掲げ、年度ごとの具体的な取り組みとして、「港区区政運営方針」を策定し、その実現に向けた取り組みを進めています。

区政運営方針について、次の設問にお答えください。

- ① 「港区区政運営方針」をご存知でしたか？

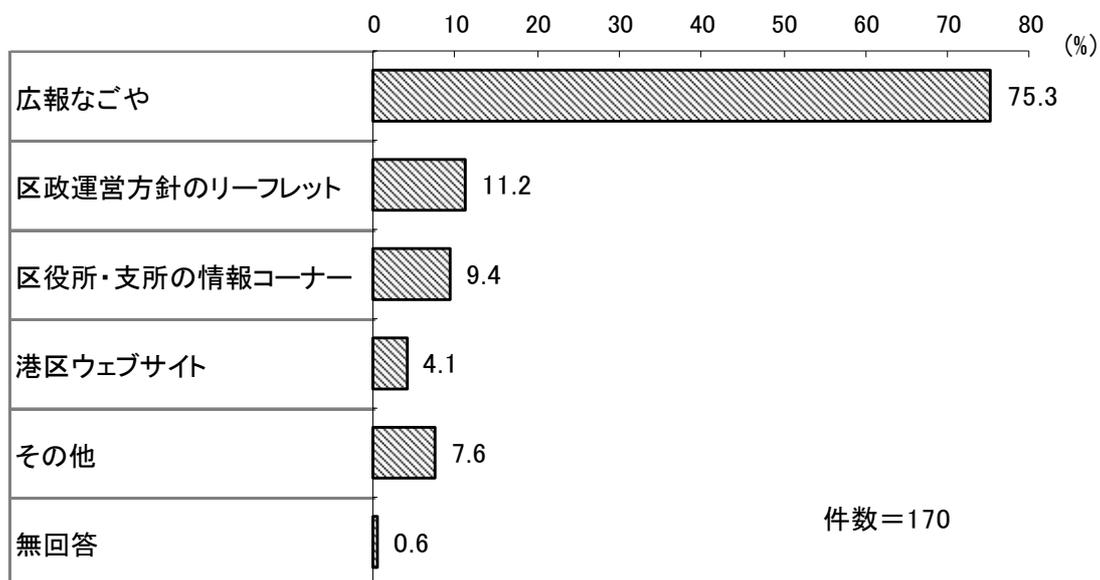


2-2 区政運営方針の認知経路

- 「港区区政運営方針」の認知経路としては、「広報なごや」が75.3%と圧倒的に高く、次いで「区政運営方針のリーフレット」(11.2%)と「区役所・支所の情報コーナー」(9.4%)が、それぞれ1割前後となっている。

①で「1」又は「2」を選ばれた方におたずねします。

② どのような手段でお知りになりましたか？



3. 港区役所の行った取り組みに関して

令和4年度の「取組事項」と「主な実績」について

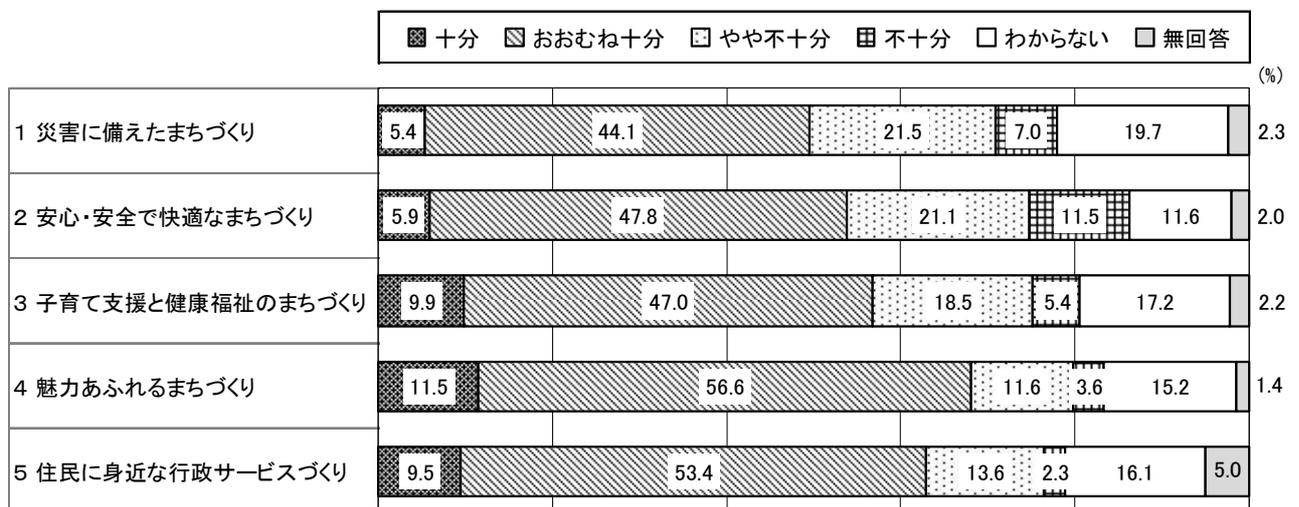
○ 令和4年度に港区役所の行った「取組事項」とその「主な実績」については、全項目とも「おおむね十分」の割合が44～57%と最も多くなっている。「十分」を合わせた割合は、「4 魅力あふれるまちづくり」(68.1%)と「5 住民に身近な行政サービスづくり」(62.9%)については、6割以上が充足していると感じており、「3 子育て支援と健康福祉のまちづくり」(56.9%)、「2 安心・安全で快適なまちづくり」(53.7%)については半数以上、「1 災害に備えたまちづくり」(49.5%)についても半数が充足していると感じている。

一方、「やや不十分」と「不十分」を合わせた不足していると感じる割合は、「2 安心・安全で快適なまちづくり」(32.6%)、「1 災害に備えたまちづくり」(28.5%)については3割前後が不足していると感じている。

質問3 港区役所では、港区区政運営方針に基づき、様々な取り組みを行いました。

次頁からの各事業について「取組事項」とその「主な実績」をご覧いただき、設問にお答えください。

※(中止*)は新型コロナウイルス感染拡大防止のために令和4年度は中止した事業です。



3-1. 災害に備えたまちづくりの進捗評価

○ 「災害に備えたまちづくり」についての取組事項と主な実績に対しては、「おおむね十分」(44.1%)が4割以上を占め、「十分」(5.4%)を合わせて49.5%と半数が充足と感じている。一方、「やや不十分」が21.5%、「不十分」が7.0%で、合わせて28.5%と3割程が不足と感じている。また、「わからない」は19.7%となっている。

1 災害に備えたまちづくり

<災害対応力の向上>

災害対応力の向上

(区役所職員への防災研修、総合防災訓練、総合水防訓練の実施 等)

<地域課題に応じた主体的な防災活動の支援>

地区防災カルテを活用した防災活動の推進

(地区防災カルテ※を活用した防災活動に取り組んでいる学区の割合 100%)

(※)「地区防災カルテ」…地形や災害リスクなどの地域特性や地域の防災活動状況など、地域防災に関する情報を学区毎に整理したデータベース

「無事ですカード」を活用した安否確認体制づくり

(「無事ですカード」を活用した安否確認体制づくりに取り組んだ学区の割合 50%)

避難所開設・運営訓練及び障害者への配慮の支援(避難所運営訓練に取り組んだ学区の割合 95%)

災害時健康サポーターの育成 (令和3年度までの災害時健康サポーター養成講座※受講者に対するフォローアップ講座の参加者数 16名)

(※)「災害時健康サポーター養成講座」…災害発生時に避難所の衛生環境等に配慮できる健康サポーターを育成する講座

<自助力向上の促進と防災意識の啓発>

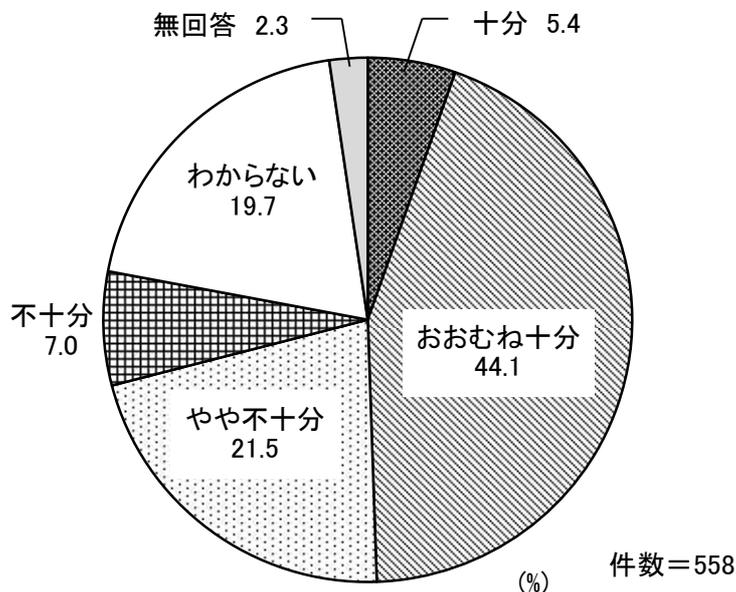
自助力の向上・防災意識の啓発

(寝室の家具等に転倒防止対策を行っている区民の割合 59%)

港区防災のつどい(過去の災害から学ぶ、防災に関する講演会 参加者数 122名)

妊婦・乳幼児の親に対する防災教育の充実(乳幼児の親の非常持ち出し品備え率 41%)

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？ (該当する番号を○で囲んでください)



3-2. 安心・安全で快適なまちづくりの進捗評価

○ 「安心・安全で快適なまちづくり」についての取組事項と主な実績に対しては、「おおむね十分」(47.8%)が半数近くを占め、「十分」が5.9%で、合わせて53.7%と半数強が充足と感じている。一方、「不十分」が11.5%、「やや不十分」(21.1%)を合わせて32.6%と、それぞれ5項目のうち一番多く、3割以上が不足と感じている。

2 安心・安全で快適なまちづくり

<犯罪のないまちづくり>

犯罪のないまちづくり

(犯罪情勢に応じた啓発・広報の実施、防犯カメラや防犯灯LED化の支援 等主要罪種の認知件数 468件(前年比+27件))

青少年の健全育成(青少年育成運動や地域活動の充実を図るための啓発活動 等)

<交通事故のないまちづくり>

交通事故のないまちづくり

(交通安全キャンペーン、交通安全教室の実施等による区民の安全意識の向上)

交通事故死傷者数 764人(前年比+28人)

<快適なまちづくり>

町を美しくする運動(道路、公園などの清掃活動の実施 等 空地清掃率69%)

管理が適切でない住居及び空き家対策の推進(管理が適正でない空き家の所有者に対する助言・指導)

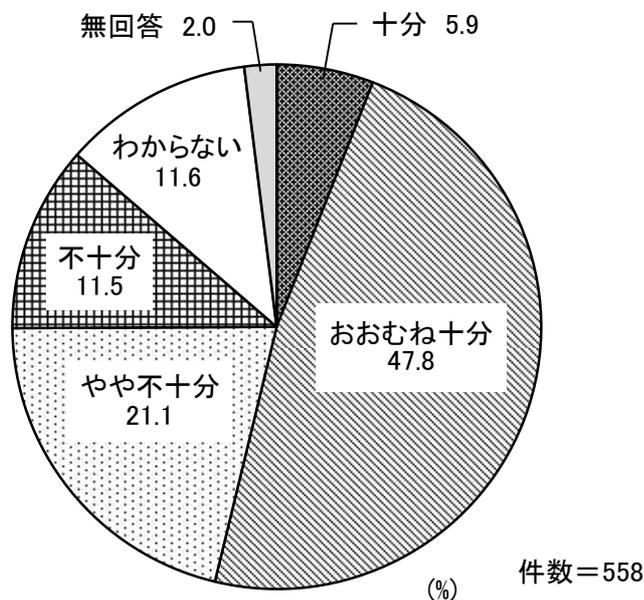
ペットと快適に暮らすまちづくり

(地域猫活動(のら猫を地域で適正に管理する活動)の認知度 16.3%)

藤前干潟生き物観察会・野鳥観察会

(アンケート満足度「満足」と「ほぼ満足」 98%)

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？(該当する番号を○で囲んでください)



3-3. 子育て支援と健康福祉のまちづくりの進捗評価

○ 「子育て支援と健康福祉のまちづくり」についての取組事項と主な実績に対しては、「おおむね十分」(47.0%)が半数近くを占め、「十分」が9.9%で、合わせて56.9%と6割弱が充足と感じている。一方、「やや不十分」は18.5%で、「不十分」(5.4%)を合わせて23.9%が不足と感じている。また、「わからない」が17.2%みられる。

3 子育て支援と健康福祉のまちづくり

<妊娠期からの切れ目のない子育て支援>

妊娠期から子育て家庭寄り添い支援(母子手帳交付時妊婦支援実施率 100%)
 赤ちゃん訪問(生後4か月まで)(実施率 93.5%) 赤ちゃん訪問(生後4か月から7か月まで)
 学区子育てサロン等の開催(みなと子育てスタンプラリー参加人数 1,165人)
 子育て情報の提供(SNSを活用した情報提供の回数 75回)
 乳幼児に対するむし歯予防の啓発(3か月児健康診査対象者への啓発率 94.1%)

<子どもを虐待から守る地域社会づくり>

児童虐待の防止(児童虐待の相談窓口を知っている区民の割合 33.6%)

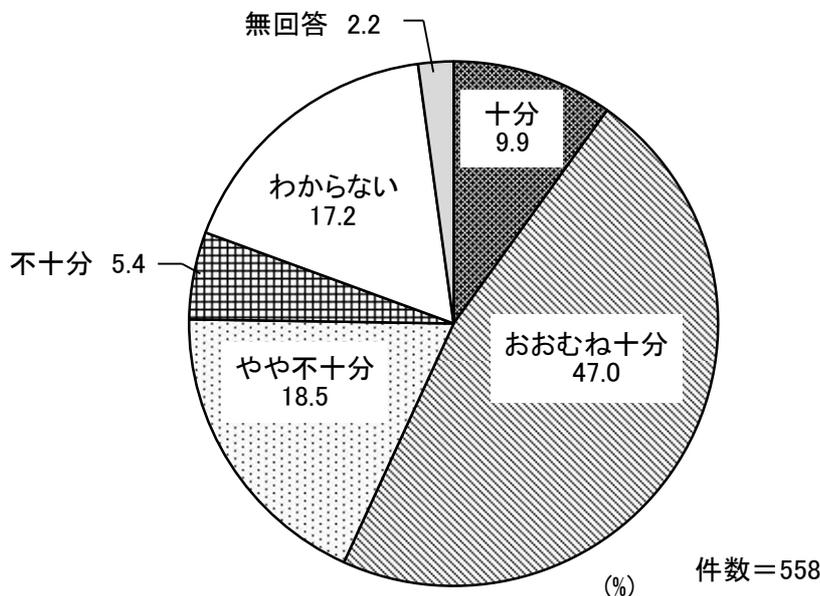
<高齢者が安心して暮らし続けられる地域社会づくり>

共生型サロン「陽まわり」の実施(「陽まわり(世代・立場・障害を越えた交流の場)」実施回数 週1回)
 花づくりイベントの実施(行事回数 6回) 高齢者福祉相談員によるヘルプカードの活用支援(中止*)
 多世代交流による地域福祉活動の支援(高齢者の集う場の実施か所数 9か所)
 地域包括ケアシステムの推進~地域包括ケア推進会議 地域課題検討ワーキンググループ~
 (ワーキンググループの実施回数 2回)
 地域包括ケアシステムの推進~港区認知症になっても安心して暮らせる町をつくり隊~
 (「港区認知症になっても安心して暮らせるまちをつくり隊」登録者数 45人)
 港区役所いきいき高齢者プロジェクト(実施か所数 14か所)
 港区役所愛護会(高齢者による区役所前花壇の整備や美化活動を実施)
 高齢者の健康づくり(いきいき教室拠点型のアンケート満足度 98.6%)

<障害者が自立して安心して暮らせる地域社会づくり>

障害者の相談支援の充実(個々の相談者に寄り添った相談、支援の実施)
 障害当事者参加型啓発活動「あなたと私の架け橋宅急便」(開催回数 8回)
 授産製品販売(展示)促進事業(「みなとーり」「みなと〜り 南陽支店」出店事業所数 10事業所)
 障害者就労施設等からの物品等の調達の推進(契約件数 9件)
 障害者とのふれあい交流事業(障害者への理解の促進)(障害者との交流イベント参加者数 86人)
 ヘルプカードの周知と活用支援(当事者へのヘルプカード作成支援人数 600人)

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？(該当する番号を○で囲んでください)



3-4. 魅力あふれるまちづくりの進捗評価

○ 「魅力あふれるまちづくり」についての取組事項と主な実績に対しては、「十分」が 11.5%、「おおむね十分」が 56.6%と、ともに5項目のうち一番高く、合わせて 68.1%と7割程が充足と感じている。一方、「やや不十分」(11.6%)と「不十分」(3.6%)を合わせた不足と感じる割合は 15.2%と、5項目のうち一番低く、区民の充足度が高い分野となっている。

4 魅力あふれるまちづくり

<魅力向上・魅力発信>

港区の魅力発信事業（港区の魅力やみどころの発信を行う）
 南陽の農業の情報発信（南陽の農業の情報発信回数 54回）※SNS含む
 野菜マルシェ開催・地産地消推進（実施回数 10回）
 ラムサール条約登録湿地藤前干潟プロムナード事業
 （藤前干潟プロムナード整備記念イベントの開催、広報の実施、啓発品の作成）

<区民まつり・南陽地域ふれあいまつりの実施>

港区区民まつり（アンケート結果「たいへん良かった」と「良かった」 94%）
 南陽地域ふれあいまつり（アンケート結果「たいへん良かった」と「良かった」 92%）
 南陽さんぽ（アンケート結果「たいへん良かった」と「良かった」 92%）

<スポーツ・文化・社会教育活動の推進>

各種スポーツ大会（各種大会やウォーキングイベントを開催・後援）
 区民美術展・短詩型文学展・子ども美術展（出場者及び来場者の合計 753人）
 華道展（来場者数 春（中止*） 秋 200人）
 社会教育関係団体の地域活動の促進
 （女性会主催の「環境バザー」「研究競技大会」、PTAの社会教育活動や研究集会の支援）

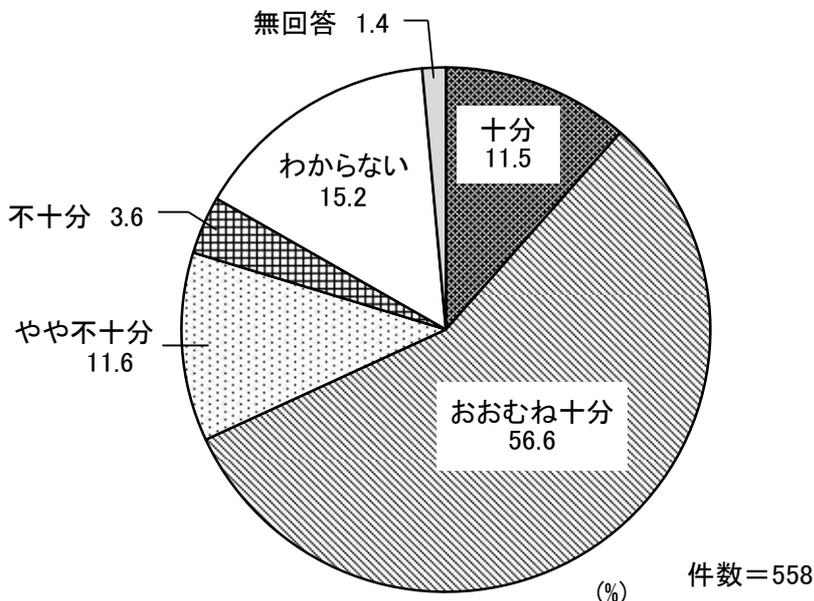
<地域コミュニティの支援>

地域コミュニティの支援
 （地域コミュニティ交流会アンケート結果「たいへん良かった」と「良かった」 95%）

<多文化共生の推進>

多文化共生推進事業（外国人住民と地域のつながりづくりを支援）

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）



3-5. 住民に身近な行政サービスづくりの進捗評価

○ 「住民に身近な行政サービスづくり」についての取組事項と主な実績に対しては、「おおむね十分」(53.4%)が半数以上を占め、「十分」が9.5%で、合わせて62.9%と6割以上が充足と感じている。一方、「やや不十分」(13.6%)と「不十分」(2.3%)を合わせた15.9%が不足と感じている。また、「わからない」が16.1%みられる。

5 住民に身近な行政サービスづくり

<区民サービスの改善・拡充>

接遇満足度 100%の区役所づくり

(窓口アンケート満足度 「とても満足」と「満足」 96.8%)

職員研修の実施(接遇研修等の実施)

窓口案内職員の配置(対応件数 123,564人)

土木事務所との連携

(各種相談窓口の連携など、迅速かつ効率的な窓口サービスの提供)

広報の充実

(広報なごや港区版の制作、ウェブサイトコンテンツの充実、Facebook「いいトコなんよ。

(南陽支所)」の運営による効率的な広報)

身近で魅力あふれる支所づくり(ロビー展示会開催回数 6回)

<外国人に対する窓口サービスの充実>

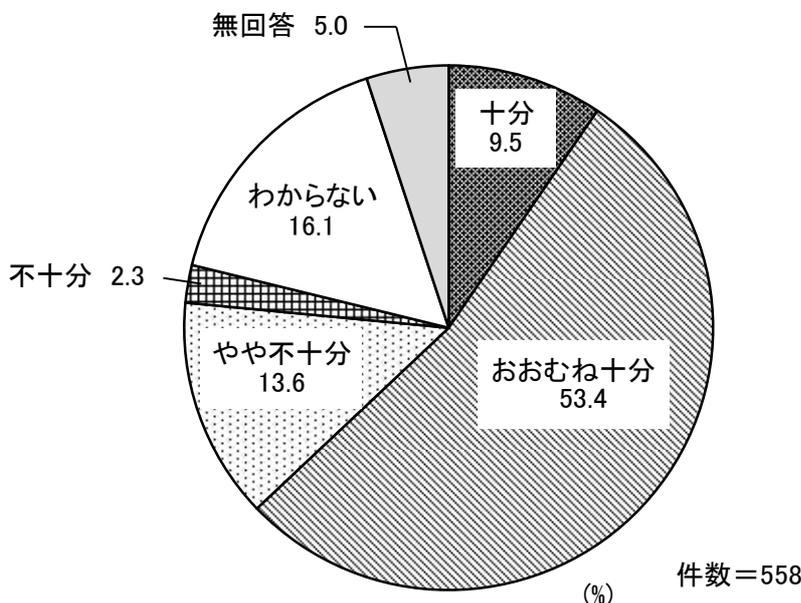
外国人に対する窓口対応サービスの充実

(ポルトガル語、フィリピン語通訳職員の配置 対応件数 2,465件 ・区役所におけるテレビ電話通訳の実施 対応件数 9件 ・外部で利用可能なタブレット端末による通訳の対応件数 48件 ・AI通訳機の導入 対応件数 97件)

<総合行政の推進>

地域課題解決に向けた連携強化(警察署・消防署・土木事務所・環境事業所などとの連携強化)

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？ (該当する番号を○で囲んでください)



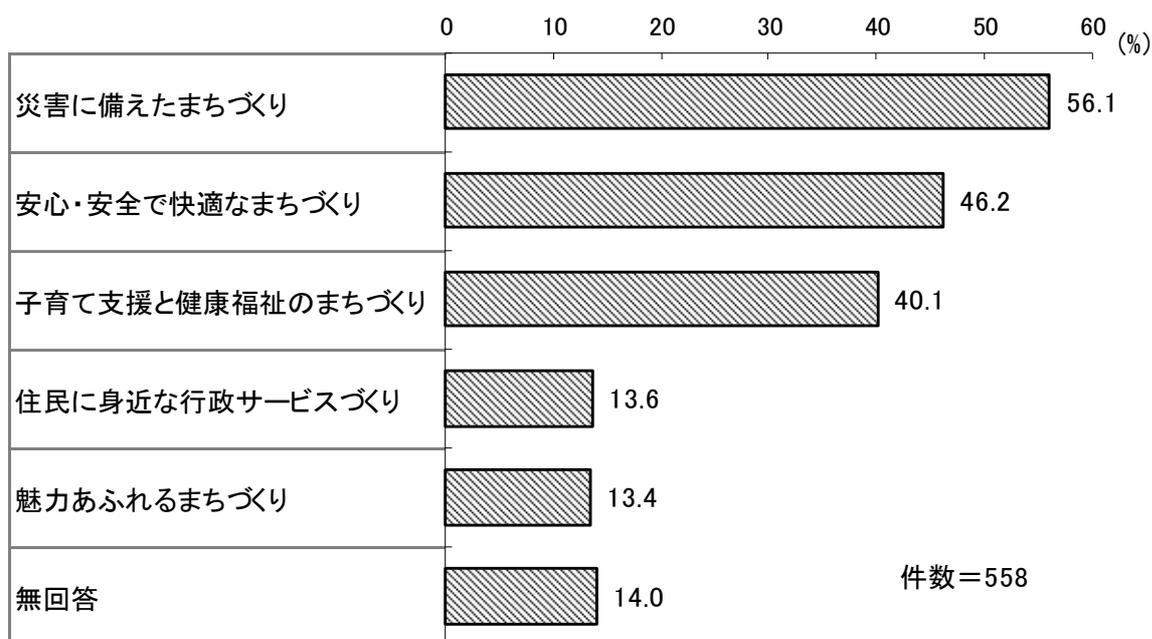
4. 今後取り組んで欲しい分野

○ 今後、港区で重点的に取り組んで欲しい分野としては、「災害に備えたまちづくり」の割合が56.1%と最も多く、次いで「安心・安全で快適なまちづくり」(46.2%)、「子育て支援と健康福祉のまちづくり」(40.1%)が4割台で続き、「住民に身近な行政サービスづくり」(13.6%)、と「魅力あふれるまちづくり」(13.4%)はともに1割強となっている。

各分野の順位は、前述の各分野についての評価で「充足していると感じる割合」が低い順となっている。

質問4 今後、港区で重点的に取り組んで欲しいと思う分野を、2つ選んでください。

(該当する番号を○で囲んでください)



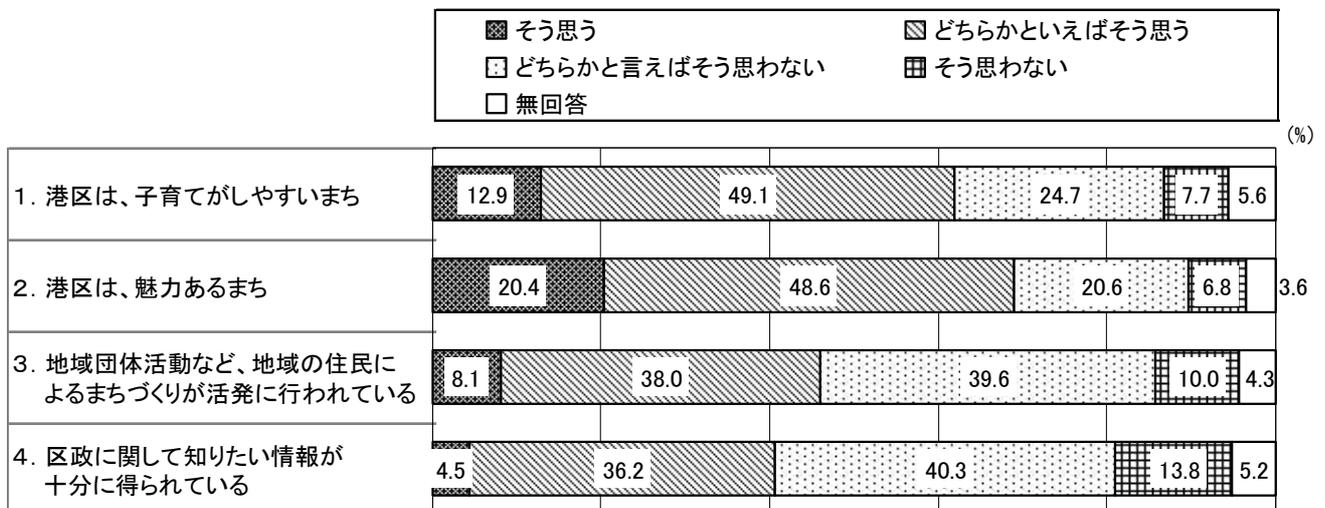
5. 港区の現状について

○ 港区が「よりよいまち」を目指す上での、港区の現状についての評価としては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的評価の割合は、「2 魅力あるまち」については69.0%と7割を占め、「1 子育てがしやすいまち」についても62.0%と6割以上が肯定的に感じている。

一方、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定的評価の割合は、「4 区政に関して知りたい情報が十分に得られている」については54.1%と半数強、「3 地域団体活動など、地域の住民によるまちづくりが活発に行われている」については49.6%と半数が否定的に感じている。

質問5 港区が「よりよいまち」を目指す上で、港区の現状にどのように感じているか「4」段階でお答えください。

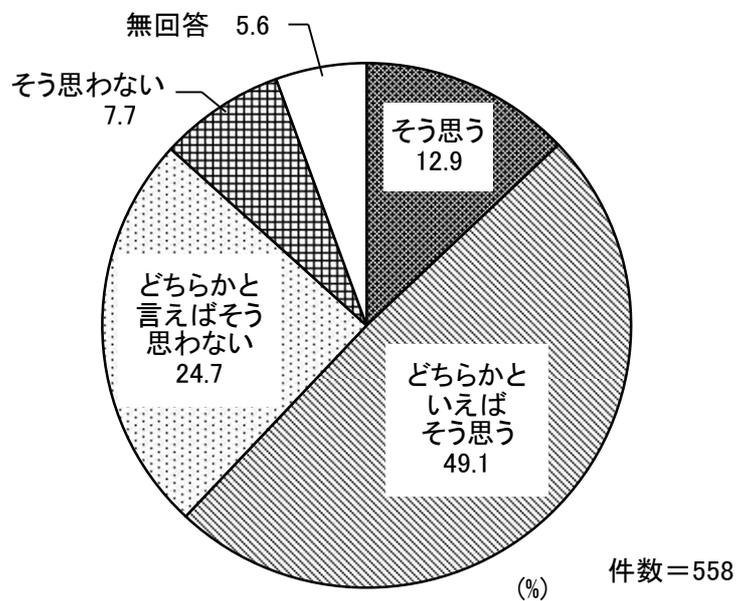
(直接関わりのない事柄についても、日々の生活の中での実感などから、各項目について率直にお答えください。)



5-1. 子育てがしやすいまち

○ 港区は、子育てがしやすいまちについて、現状どのように感じているかとしては、「どちらかといえばそう思う」が49.1%と最も高く、半数を占め、「そう思う」(12.9%)を合わせて62.0%と6割以上が肯定的に感じている。一方、「どちらかと言えばそう思わない」(24.7%)、「そう思わない」(7.7%)を合わせた32.4%が否定的に感じている。

1. 港区は、子育てがしやすいまちだと思いますか。

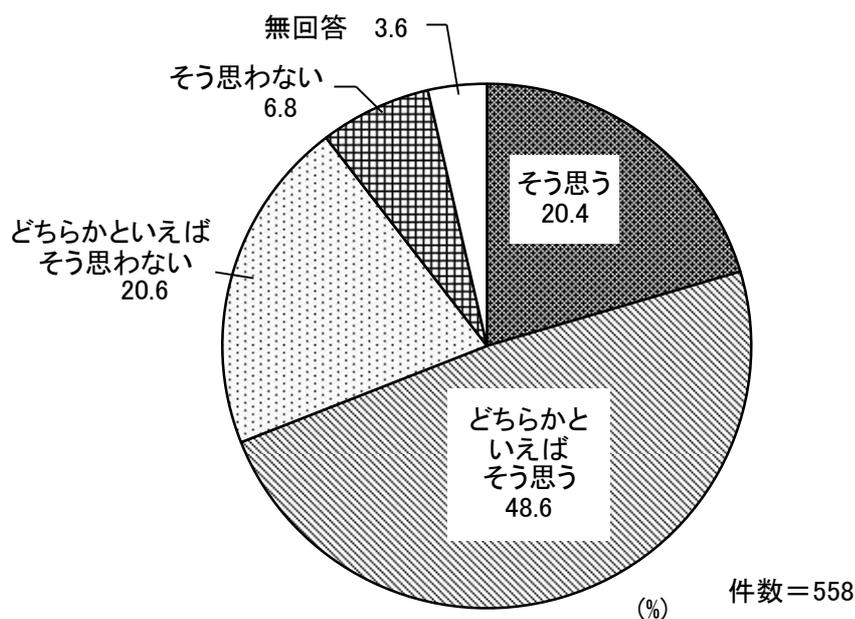


5-2. 魅力あるまち

○ 港区は、魅力あるまちについて、現状どのように感じているかとしては、「そう思う」が20.4%、「どちらかといえばそう思う」(48.6%)を合わせて69.0%と、それぞれ4項目のうち一番高くなっている。一方、「どちらかと言えばそう思わない」は20.6%、「そう思わない」は6.8%と、ともに4項目のうち一番低く、否定的に感じている割合は合わせて27.4%となっている。

2. 港区は、魅力あるまちだと思いますか。

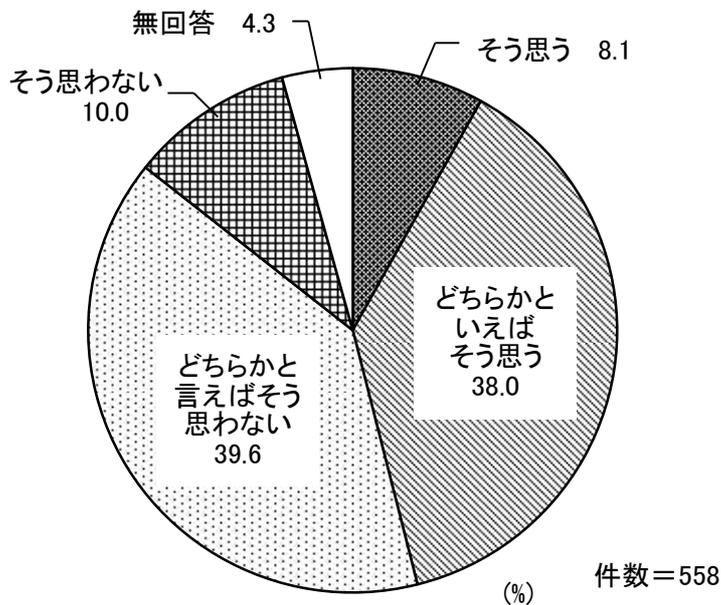
港区は、総取扱貨物量日本一を誇る名古屋港をはじめ、名古屋港水族館、リニア・鉄道館、レゴランド®などの魅力的な施設のほか、戸田川緑地や藤前干潟、南陽地域の水田地帯での田んぼアートなど、様々な顔を持っています。また、2023年には「ARUHI presents 本当に住みやすい街大賞2023 in 愛知」1位に東海通が選ばれました。



5-3. 地域の住民によるまちづくりが活発に行われている

○ 地域団体活動など、地域の住民によるまちづくりが活発に行われているについて、現状どのように感じているかとしては、「どちらかと言えばそう思わない」が39.6%で最も高く、「そう思わない」(10.0%)を合わせて49.6%と半数が否定的に感じている。一方、「そう思う」(8.1%)と「どちらかといえばそう思う」(38.0%)を合わせて46.1%と半数弱が肯定的に感じており、区民の評価は、肯定的な割合と否定的な割合は拮抗している。

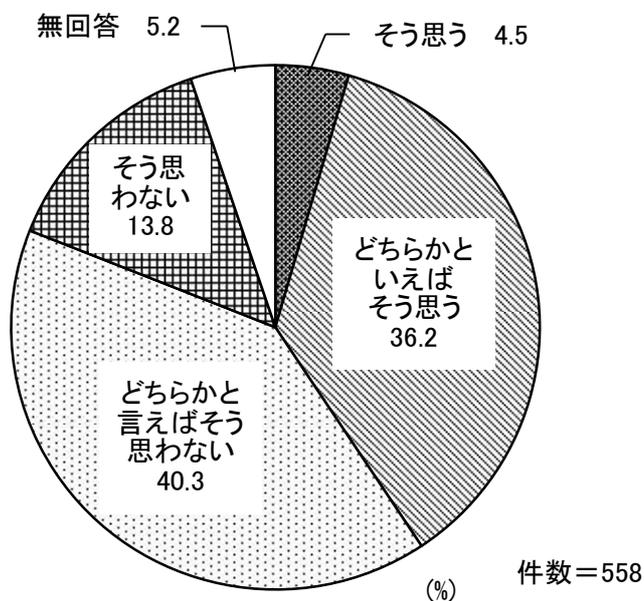
3. 地域団体活動など、地域の住民によるまちづくりが活発に行われていると思いますか。



5-4. 区政に関して知りたい情報が十分に得られている

○ 区政に関して知りたい情報が十分に得られているについて、現状どのように感じているかとしては、「どちらかと言えばそう思わない」が40.3%で最も高く、「そう思わない」は13.8%であり、ともに4項目のうち一番多く、合わせて54.1%と半数以上が否定的に感じている。一方、「そう思う」は4.5%、「どちらかといえばそう思う」は36.2%で、ともに4項目のうち一番低く、肯定的に感じている割合は、合わせて40.7%となっている。

4. 区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思いますか。



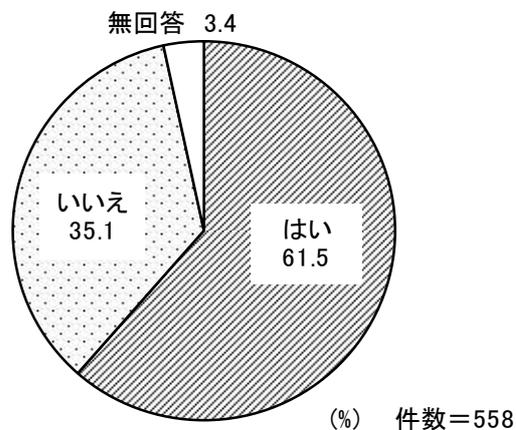
6. あなた自身の取り組みや認知度などについて

6-1. 家具等の転倒防止対策

○ 寝室の家具等（家具の他、テレビなど電化製品を含む）の転倒防止対策を行っているかについては、「はい」の割合は61.5%と6割以上を占め、「いいえ」の割合は35.1%となっている。

質問6 あなた自身の取り組みや現状、または、それぞれの施策の認知度などについて、次の質問にお答えください。

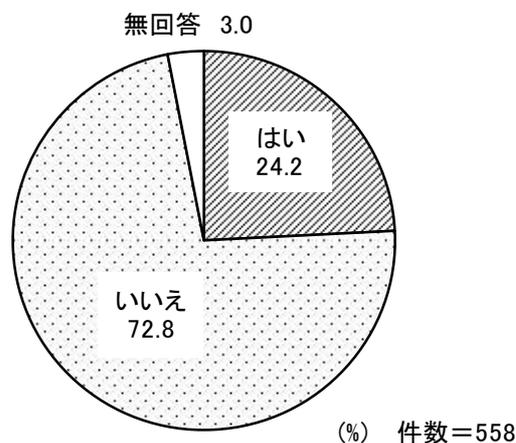
1. 寝室の家具等（家具の他、テレビなど電化製品を含む）の転倒防止対策を行っていますか。



6-2. 地域猫活動の認知

○ 地域猫活動の認知については、「はい」の割合は24.2%とまだ低調であり、「いいえ」の割合が72.8%と7割以上を占めている。

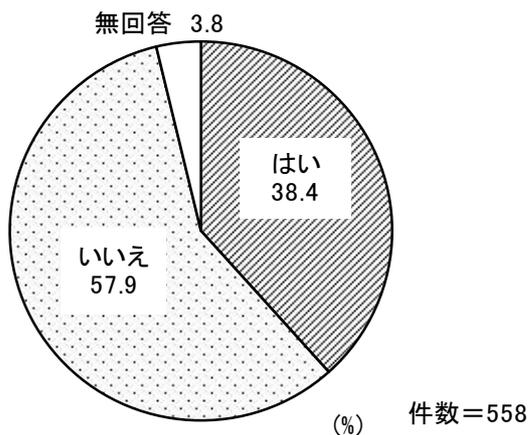
2. 「地域猫活動（※）」を知っていますか。 ※ 地域におけるのら猫による迷惑防止を図る活動



6-3. 児童虐待の相談窓口の認知

○ 児童虐待の相談窓口の認知としては、「はい」の割合は38.4%と4割程であり、「いいえ」の割合が57.9%と半数以上を占めている。

3. 児童虐待の相談窓口を知っていますか。



6-4. 地域で相談できる人の有無

○ 65歳以上の方の、隣近所や地域において、困ったときに相談できる人がいるかとしては、「はい」の割合は60.2%と6割であり、「いいえ」の割合は36.5%となっている。

※65歳以上の方にお聞きします。

4. 隣近所や地域において、困ったときに相談できる人がいますか。

